

健康福祉科学専修 保健医療福祉の実践者（社会福祉学領域） 履修モデル

【期待される能力・修了後の主な進路】

人々の生活支援や社会の諸課題の解決を可能とする社会福祉学を修得し、健康情報学との連携を視野に入れながら、今日的な保健医療福祉の課題、社会問題・生活課題を理解し、エビデンスに基づき実践やプログラムを評価し、企画立案、管理運営・マネジメントにおいてリーダーシップを発揮できる人材を育成します。

修了後は、保健医療福祉機関等において指導的な立場を担える人材となります。

2年次

【特別研究】

健康福祉科学特別研究Ⅰ※(6)

健康福祉科学特別研究Ⅱ※(6)

【専門科目】

子ども若者支援論(2)

健康支援カウンセリング論(2)

ソーシャルワーク特論※(2)

ソーシャルケア実践のマネジメントと研究※(1)

ソーシャルケア実践の評価と研究※(1)

健康福祉社会調査論(2)

※印科目は認定社会福祉士研修を兼ねる科目です。

これらをすべて履修することでSVを除く認定社会福祉士資格に必要な研修を受講したこととなります。

1年次

【共通必修科目】

IPW論(専門職連携実践論)(2)

【共通選択科目】

保健医療福祉概論(2)

保健医療福祉研究法特論(2)

国際保健医療福祉論(2)

保健医療福祉とリハビリテーション(2)

【学士課程において身につけておくことが望まれる能力】

社会福祉、社会保障、ソーシャルワークに関する基礎知識と、地域において児童から高齢者までが直面する保健医療福祉課題に対し、多角的な視点と関心を有する者を求める。主体的に課題に取り組める基礎学力、目的意識をもつ者が望ましい。